

■発行/医療法人社団創造会 広報委員会

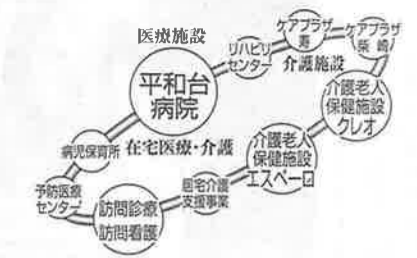
〒270-1101 千葉県我孫子市布佐834-28 ☎04(7189)1111(代)
http://www.medicalplaza.or.jp/

第37号発行/2011年(平成23年)4月28日

「創造会」理念

1. 私たちは、患者さんと地域の方々に求められ、望まれる医療と福祉を真摯に行います。
2. 私たちは、医療と福祉を通じて人のために尽くすということが、私たち自身の喜びとなるような創造会にします。
3. 私たちは、常に私たちの可能性を信じ、新たなものに挑戦していきます。

創造会メディカルプラザ



平和台病院	04(7189)1111(代)
介護老人保健施設エスパーロ	04(7189)1112(代)
介護老人保健施設クレオ	04(7179)7700
在宅センター	
訪問診療室	04(7189)1121
居宅介護支援事業所ふさ	04(7189)1113
居宅介護支援事業所けやき	04(7179)7755
訪問看護ステーションふさ	04(7189)1114
ケアプラザ柴崎	
デイサービス柴崎	04(7181)3100
グループホームヴィスタリオ	04(7181)3900
ケアプラザ寿・グループホーム寿	04(7179)6600
予防医療センター	04(7189)1119
こどもデイルームみらい	04(7189)1783

平和台病院開院25周年を迎えて

創造会は今年25周年を迎えます。平和台病院開院時「24時間エマージェンシー」という標語を掲げ、地域医療への関わりキーワードとしました。その後、1998年に2000年の介護保険導入を視野に入れた「メディカルプラザ構想」を立ち上げました。そこで我々の目標を、この地域で予防医療・医療・介護・在宅サービスを切れ目なく行う「ヘルスケア複合体」を実現する事としました。

その後、その方針に則り、施設サービスとしては2000年に平和台病院の新築移転と「老健施設エスパーロ」の新設、2002年に病児保育所、2005年に「ケアプラザ柴崎」、2006年に「ケアプラザ寿」、2007年に「老健施設クレオ」、そして昨年には救急医療機能の強化と予防医療の充実の為に「メディカルプラザ新館」を建設しました。

今後、創造会はメディカルプラザ構想を更に推進して行きます。この地域で求められているヘルスケアサービスを考え、創造会に不足しているサービスの充実を図っていきます。



理事長 土井紀弘

一般的に、企業力をみる時に①独自性 ②人材育成力 ③社会貢献力 ④収益力 ⑤透明性 等を総合的に評価しますが、わが創造会はどれも満足な点には至っていない様に思えます。

「私たちは、常に私たちの可能性を信じ、新たなものに挑戦していきます」という理念の更なる実践が求められています。

今年度のキーワードは、「患者様と地域の方々に求められ、望まれる医療と福祉を真摯に行います」という理念の真剣な実施のために掲げました。これはまだ私たちのサービスが不十分であるという認識があるからです。創造会の弱みに、決定されたことへの遂行力の低さがありますが、それらを何とか克服して行きたく思っています。

今年度も忙しい年になりそうです。医療・介護界を通じて「機能分化」と「連携」は益々重要になります。医療・介護の基本である患者様・利用者様への真摯なサービスの実行を、今年度は職員の方々と共に考えていきたいと思います。

平成23年度 創造会事業方針

さらなるサービス向上をめざして

23年度 キーワード 常に患者様、利用者様 中心の医療・介護を行う

- (I) 重点項目
 - 1 組織体制の強化と再編
 - 2 組織図の見直し
 - 3 ホウレンソウの確立
 - 4 情報の共有化
 - 5 連絡会議、委員会制度、プロジェクト化
 - 6 2 新人事制度の推進
 - 7 人事制度企画委員会を中心に新人事制度の作成
 - 8 3 系統的人材育成
 - 9 職員の能力開発の向上
- (II) 企画項目
 - 1 経営基盤の強化
 - 2 経営計画の作成
 - 3 引き続き四半期会議の充実
 - 4 引続き四半期会議の充実
 - 5 企画項目
 - 6 全員参加型経営
 - 7 京セラ式原価管理システムの検討
 - 8 2 国際協力
 - 9 外国人看護師招聘の検討
 - 10 国際交流の活発化
 - 11 国際医療協力の検討
 - 12 介護施設の国際化の検討
 - 13 3 メディカルプラザ構想の進展
 - 14 緩和ケア
 - 15 透析施設
 - 16 リハビリテーションの強化
 - 17 在宅センターの強化
 - 18 4 2015年をターゲットとした住居型介護サービスの展開
 - 19 サービス付き介護住宅

東日本大震災

～被災地へ医療チームを派遣～

3月11日(金)午後2時46分頃三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0の未曾有の大震災と津波により岩手・宮城・福島の大震災、関東地方で3万人近くの死者・行方不明者があり、家屋倒壊、道路、鉄道、電気、ガス、水道などの社会インフラの機能マヒ、その後の福島第1原発事故、放射能汚染の追い討ちとまさに「国難」の非常事態となっております。



被災地で診察にあたる土井理事長

要請を受けた派遣チームが岩手県大槌町に向かい、避難所(大槌高校・老健ケアプラザ大槌)2ヶ所で診療を行いました。なお、事前の3月20日、22日には救援物資を送るための先遣隊も派遣しました。

職員及び患者様のご協力により80万円を超える募金が集まり、関係機関を通じて送金しました。今後も継続して義援金を送ります。ご協力お願いします。

義援金 募る

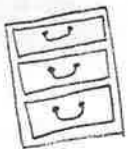
ぶらさ

▽ある冬の日、妻が「この本、いい本だけど知ってる？」といつてきた。その本は、詩集『しげないで』という本であった。かつてマスコミで紹介されたらしく、その番組を見て感動したらしい。

▽その人は柴田トヨさんといつて、九十九才の詩人と紹介されており、日々の暮らしの中で感じたことをありのままに綴っており、驚いたことに、一人息子に勧められて、九十才を過ぎてから詩を書き始めている。

▽一人暮らしの寂しさの中にも前向きで、時にはユーモアを交え、柔らかな感性を持って書き綴っている詩には、作者の人格が溢れているのを感じます。

▽その詩集の一つに「貯金」という詩があります。



貯金

私ね 人から
やさしさを貰ったら
心に貯金しておくの
さびしくなった時は
それを引き出して
元気になる
あなたも 今から
積んでおきなさい
年金より
いいわよ

25周年記念誌発行



広報室 山本 弘之

今年の7月1日に創造会は創立25周年を迎えます。これを記念して、「25周年記念誌(仮称)」を発行することになりました。

担当になった時、「自分はそんな経験ありませんし、文章も上手くありません。また、印刷とか本づくりも、病院のパンフレット作成の経験があるだけです。その時、理事長の指導の下、手足として動いただけです。本当に不安になりました。しかし、強力なメンバー4名と一緒に頑張りましたので、少しほっとし

ました。広報室に所属する私を除いては、皆さんメインの仕事があり、その合間を縫っての業務ですので、大変です。全員全力を尽くして頑張る所存ですので、ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

さて、皆さんは記念誌というと、どんな内容を想像されますか？病院の歴史を学び、今後の経営に役立つ、経営資料と情報の整理・継承をする、職員・家族に病院への理解を深めてもらう等いろいろなことを思い浮かべられると思います。

委員会の中で、いろいろ議論を行いました。私たちが、記念誌の発行目的を3つに絞りました。

①実績の取り纏め(情報の整理・継承)
 ②創造会のアピール(アイデンティティの確立)
 ③感謝(患者さま、地域の皆様、医療・福祉機関、行政、金融、協力企業等)

他の病院の記念誌も参考にさせて戴きましたが、結構過去の内容に話(あの時はよく頑張った等)が載っています。これもとても大切なことですが、紙面の

制約もあるので、今回文章は割愛させて戴き、その当時の写真を掲載することで、当時の懐かしさを感じていただこうと考えています。皆さん、昔の写真をお持ちでしたら、ぜひ貸して下さい。今回は、「現在はどうか」「将来はどのようにするのか」を浮き彫りにしようと考えています。すでに、創造会と関係の深い行政、医療機関、各職場に原稿を依頼し、動き始めています。創立記念日までは完成させますので、ご期待ください。



クリストレ総合病院

訪れ、ノース副院長とバシル診療技術部長からお話を伺い館内を見学しました。修道院が母体なので施設内に教会があり厳かな雰囲気を感じました。病室の真ん中で案内して頂き生まれた赤ちゃんと母親にこ対面というハプニングもありました。イタリアでは病院死の場合ほぼ100%遺体を解剖することが普通で、自分も喜んで提供すると話されたことには驚きました。

この日の午後と翌日は全員でヴァチカン美術館とウフィツィ美術館を訪れルネッサンス芸術を満喫しました。個人的には大学4年の夏以来実に39年ぶりにボツティチェリの『ヴィーナスの誕生』に再会できたのが

今旅のハイライトでした。フィレンツェへの行き帰りのユーロ・イタリア鉄道の旅も快適そのもの、何かおかしかったのか？帰路の車内での皆さんの幸せ一杯の笑い声が今も耳に残ります。

最後の2日間自由行動だったので皆それぞれ足の向くままの向くまま。

今振り返ると旅情溢れる『永遠の都ローマ』の街角のひとつひとつが懐かしく思い出されます。カラカラ浴場跡の豪華な果て、凄まじい落書きだらけの複雑な地下鉄、「アンブレラ、アンブレラ」と叫ぶ傘売り軍団、今にもオードリー・ヘップバーン、グレゴリー・ペックが出てきそうなスペイン

階段昇り、暗闇に真っ白に浮かび上がるトレヴィの泉と巨大なギリシャ彫刻群、オルヴィエートの大平原に立ち上った見事な半円の虹、フィレンツェを流れるアルノ川沿いの橋々の美しさ。何より1週間仕事を忘れ(家庭も?)ピザとワインを片手に中世ローマに思いを馳せ、身も心もリフレッシュできたことが最高！

「アプレデルチ・ローマ」

永年勤続海外研修旅行に参加して『ローマの休日』

法人事務局 菊地 政夫

昨年の11月18日から24日(水)にかけて永年勤続10年・12年の海外研修でローマに行きました。総勢9名、職名はクリストレ総合病院を

場は病院、老健、在宅、法

初日の午前中は産科で有名

修道院が母体なので施設内に教会があり厳かな雰囲気を感じました。病室の真ん中で案内して頂き生まれた赤ちゃんと母親にこ対面というハプニングもありました。イタリアでは病院死の場合ほぼ100%遺体を解剖することが普通で、自分も喜んで提供すると話されたことには驚きました。

この日の午後と翌日は全員でヴァチカン美術館とウフィツィ美術館を訪れルネッサンス芸術を満喫しました。個人的には大学4年の夏以来実に39年ぶりにボツティチェリの『ヴィーナスの誕生』に再会できたのが

今旅のハイライトでした。フィレンツェへの行き帰りのユーロ・イタリア鉄道の旅も快適そのもの、何かおかしかったのか？帰路の車内での皆さんの幸せ一杯の笑い声が今も耳に残ります。

最後の2日間自由行動だったので皆それぞれ足の向くままの向くまま。

今振り返ると旅情溢れる『永遠の都ローマ』の街角のひとつひとつが懐かしく思い出されます。カラカラ浴場跡の豪華な果て、凄まじい落書きだらけの複雑な地下鉄、「アンブレラ、アンブレラ」と叫ぶ傘売り軍団、今にもオードリー・ヘップバーン、グレゴリー・ペックが出てきそうなスペイン

階段昇り、暗闇に真っ白に浮かび上がるトレヴィの泉と巨大なギリシャ彫刻群、オルヴィエートの大平原に立ち上った見事な半円の虹、フィレンツェを流れるアルノ川沿いの橋々の美しさ。何より1週間仕事を忘れ(家庭も?)ピザとワインを片手に中世ローマに思いを馳せ、身も心もリフレッシュできたことが最高！

「アプレデルチ・ローマ」



快適なユーロ・イタリア鉄道の旅



新年会の一場面

新年会を終えて

新年会委員長 松本 雄一郎

平成23年1月19日マリアチャペル・マリパールにて「創造会メデイカルプラザ新年会」が260名の出席者のなか行われまし

た。運営

上行き届かない部分が多々ありましたが、多くの皆様の協力ののおかげで今年も無事に新年会を終えることが



頑張りました

1月30日、気持ちの良い日差しの下、湖北台中学校にて我孫子市「新春マラソン大会」が開催されました。平和台病院からも9名の職員がランナーとしてエントリーされました。胸に創造会のロゴマークをつけ無事に全員完走!! ランニングも最近では気軽に行なえて人気なスポーツになっていきます。日頃の運動不足を解消してみませんか?

2010年12月7日、創造会職員の福利厚生の一ツとしてバレーボール大会を開催しました。多くの部署から参加いただき、チームで協力して励む姿がとても印象的でした。今後も職員が満足できる企画を提案していきたいと思ひます。



スポーツ委員会委員長 高橋裕之

編集後記

今回「びいなっつ」第37号発行から新メンバーとして参加させていただきまして、はじめて「びいなっつ」を作成するにあたって感じたことは、職員の協力があったからこそ完成できる「びいなっつ」だということでした。

職員が書いた記事も掲載しておりますので、職員の声が届きやすいと思ひます。「びいなっつ」を通じて読者の方に職員の和やかさ、創造会の特色を感じていただけるような活動をしていきたいと思ひます。今後とも頑張りますのでよろしくお願ひします。(N・H)

できました。特に、感謝をしたのは新年会には欠かせない余興を披露してくれた職場の皆様です。ダンスあり歌あり生演奏ありと大変盛り上がりました。新年会を盛り上げようと、仕事を終えた後

に集まり練習してくれた気持ちに感謝しています。創造会を今後盛り上げていくのは、こんな心意気をもった人達ではないのかと思ひます。ありがとうございます。ごさいました。